

＜平成 27 年度の主な事業＞

第 6 次小樽市総合計画の「まちづくり 5 つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大（括弧内の金額は予算現額）】（*印は26年度からの繰越事業）

A【まちづくり 5 つのテーマ】

1. 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

- ☆① 「樽っ子学校サポート」関係経費 168千円(168千円)
児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学に在籍する学生及び市内在住の大学生を小中学校へ派遣し学習を支援するほか、夏休み・冬休みにおいては、市内の高校に在籍する生徒の派遣も実施
- ② 音読推進経費* 326千円(330千円)
「音読カップ(発表会)」や「小樽こどもの詩コンクール」を開催するなど、全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進
- ③ 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費 133千円(284千円)
(予算現額のうち150千円は平成28年度へ繰越)
市内小中学生の国際感覚をはぐくむため、外国人との活動や宿泊生活、外国人観光客への観光案内など「英語漬け」の時間(1泊2日)を過ごすプログラムを実施
〔参加者〕 小学校5・6年生(28名)、中学生(39名)
〔指導者〕 市内小中学校教諭、A L T (外国語指導助手)ほか
- ④ スクールソーシャルワーカー関係経費 704千円(843千円)
学校だけでは対応が困難な児童生徒のいじめ、不登校、問題行動などの解決

に向け、スクールソーシャルワーカー 1 名を配置

- ☆⑤ 校舎等改築事業費
(手宮地区統合小学校、山手地区統合小学校、朝里中学校(新規))
778,211千円(864,080千円)
小学校771,121千円(847,280千円)、中学校7,090千円(16,800千円)
安全で安心な教育環境の確保のため、校舎や屋内運動場の整備に係る実施設計、工事等を実施
- ・手宮地区統合小学校(手宮中央小学校) 581,545千円(622,680千円)
H25～H26 校舎建設、H27 屋内運動場建設、H28 開校、グラウンド整備
 - ・山手地区統合小学校 189,576千円(224,600千円)
H26 実施設計、H27 敷地造成工事、H28～H29 校舎・屋内運動場建設、H29 グラウンド整備、H30 開校
 - ・朝里中学校(木造・コンクリートブロック校舎部分) 7,090千円(16,800千円)
H27 実施設計、地質調査、H28 校舎改築
- ⑥ 校舎等耐震補強等事業費 676,789千円(693,870千円)
小学校534,767千円(544,660千円)、中学校142,022千円(149,210千円)
校舎及び屋内運動場の耐震補強及び大規模改造
- ・奥沢小学校(校舎・屋内運動場) 534,767千円(544,660千円)
 - ・銭函中学校(屋内運動場) 142,022千円(149,210千円)
- ◎⑦ 校舎等大規模改造事業費(高島・手宮地区統合中学校) 5,928千円(16,000千円)
高島・手宮地区統合中学校開校のため、旧手宮西小学校の校舎・屋内運動場を改修
H27 実施設計、H28 大規模改造工事、H29 開校
- ◎⑧ I C T 教育促進事業費 41,232千円(47,000千円)
小学生の基礎学力定着のために、デジタル機器とそれらを活用するための教

材を一体で整備するとともに教員に対する研修を実施

◎⑨ 学校給食牛乳パックリサイクル事業費 753千円(753千円)
リサイクルやごみ減量に対する教育の取組として、学校給食で提供している牛乳パックのリサイクルを各小中学校で実施するために必要な洗浄器具を整備

☆⑩ 放課後児童健全育成事業費 161,420千円(204,879千円)
放課後児童クラブの開設
小学校18か所、勤労女性センター、いなきた児童館、塩谷児童センター
(平成27年度拡充内容)
・法改正により対象児童を小学校6年生まで拡大
・法改正により各クラブに2名の支援員を配置
・小学校内に開設しているクラブの平日・土曜日通年開設を全クラブに拡大

☆⑪ 教育支援活動推進事業費 1,826千円(1,826千円)
地域教育力の向上と活性化を図るため、生涯学習プラザを拠点とした「小樽わくわく共育ネットワーク」の構築など、学校、家庭、地域全体で子どもたちをはぐくむ体制づくりを推進するほか、「おたる地域子ども教室」や学校支援ボランティアなどの取組を実施

⑫ スクール・ライブラリー便事業費* 1,000千円(1,000千円)
学校のリクエストに応じて図書館図書100冊を2か月間貸し出す「スクール・ライブラリー便」事業を全小中学校で実施するため、計画的に専用図書を購入

⑬ 特別展開催経費（文学館） 138千円(200千円)
・「生誕110年伊藤 整展」（平成27年4月4日～5月31日）
小樽を代表する文学者である伊藤 整の誕生110年を記念し、その生涯にわたる文学全体を紹介

⑭ 特別展開催経費（美術館） 2,723千円(2,945千円)
I)「小樽運河・いまむかし展」（平成27年4月25日～7月5日）
古くから多くの画家たちのモチーフとなっている小樽運河の作品群を展示
II)「花ひらく近代洋画の世界－糠業協会コレクションから」
(平成27年7月11日～9月13日)
大正から昭和初期に活躍した日本の画家たちの葛藤、模索をたどる作品57点を展示
III)「北海道現代具象展」（平成27年10月17日～11月22日）

⑮ 桜ヶ丘球場整備事業費 113,670千円(113,670千円)
天皇賜杯第71回全日本軟式野球大会全国大会開催(平成28年9月17日～18日開催予定)に伴う球場の一部改修(内野クレイ舗装工、外野芝生舗装工など)

2. ともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

◎① 子ども・子育て支援新制度関連
(新規又は内容を変更した主な事業)
・教育・保育給付費負担金 1,330,092千円(1,339,403千円)
保育所、認定こども園、新制度に移行した幼稚園及び小規模保育事業所へ給付費を支給（従来は運営費、幼稚園は事業者の選択により新制度へ移行）
・嘱託報酬（利用者支援事業 相談員分） 1,651千円(1,658千円)
子ども又はその保護者が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、子育て支援課に専任の相談員を配置
・放課後児童健全育成事業費【再掲】 161,420千円(204,879千円)

◎② 移動式赤ちゃんの駅事業費* 627千円(1,000千円)
乳幼児のいる家庭が市内で開催される行事等に親子で安心して参加できる環境を整備するため、授乳やおむつ交換をするためのテントやおむつ交換台など、貸出用の備品を整備

◎③ 保育環境改善事業費 9,800千円(9,800千円)
幼稚園や保育園に対する絵本の購入費補助や絵本の読み聞かせや伝承あそびの巡回事業の実施など

④ 保育所建設事業費(銭函保育所・子育て支援センター) 27,157千円(30,535千円)
銭函保育所(昭和43年建築)の老朽化に伴い、子育て支援センターを併設し改築
・平成25年度 基本設計、実施設計、地質調査
・平成26年度 仮設園舎設置、現園舎解体工事、新園舎工事
・平成27年度 新園舎供用開始、仮設園舎撤去、外構工事

⑤ ふれあいパス事業費 159,686千円(166,000千円)
70歳以上の市民を対象に「ふれあいパス」(バス乗車証又はJR特殊乗車券)を交付

⑥ 地域生活支援事業費(成年後見制度利用支援) 18,170千円(21,912千円)
一般会計2,428千円(3,058千円)、介護保険事業特別会計15,742千円(18,854千円)
小樽市社会福祉協議会が開設する「小樽・北しりべし成年後見センター」への財政支援と低所得者に対する後見人報酬等を助成

☆⑦ 地域包括支援センター運営事業費 121,000千円(121,000千円)
平成27年度から中部圏域を担当する中部地域包括支援センターを2分割(南部及び中部)し、新たに済生会小樽病院内に南部地域包括支援センターを設置

◎⑧ 在宅医療・介護連携推進事業費 450千円(450千円)
「地域包括ケアシステム」の構築に向け、在宅医療と介護サービスを一体的に提供できる体制を整備するため、関係機関の連携を推進
・平成27年度 医療機関・介護サービスに関する資源の把握、関係者の研修など

⑨ 感染症等予防対策費 5,859千円(6,829千円)
(うち防護服整備分651千円(831千円)は平成26年度から繰越)
感染症に対する検査や予防啓発を行うほか、エボラ出血熱患者等を指定医療機関へ移送するための患者移送用車両を改造

⑩ 病院統合新築事業 589,507千円(591,000千円)
小樽市立病院開院(平成26年12月)に伴う、旧市立小樽病院解体と駐車場整備
・駐車場供用開始 平成27年10月16日

3. 安全で快適な住みよいまち(生活基盤)

① 配水管整備、改良工事、導・送水管整備及び消火栓整備 940,702千円(1,054,385千円)
・配水管整備(市内一円配水管布設 L=2,639m) 357,582千円(375,521千円)
・改良工事(中区配水池築造工事ほか) 547,343千円(641,755千円)
・導・送水管整備(豊倉送水管布設工事ほか) 34,395千円(35,726千円)
・消火栓整備(1基新設) 1,382千円(1,383千円)

② 汚水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場設備の更新 878,388千円(1,176,893千円)
・汚水管整備(長寿命化対策汚水管改築工事ほか) 426,656千円(553,744千円)
(汚水管整備の予算現額のうち107,300千円は平成28年度へ繰越)
・雨水管整備(熊碓第2排水区雨水渠築造工事) 23,070千円(62,700千円)
・ポンプ場設備の更新(高島汚水中継ポンプ場機械設備工事ほか) 11,281千円(30,718千円)
・処理場設備の更新(中央下水終末処理場水処理施設機械設備工事ほか) 417,381千円(529,731千円)

- ◎③ 銭函3丁目交通安全事業費 14,851千円(15,000千円)
小樽ドリームビーチを利用する歩行者の安全を確保するため、交通安全施設(ガードレール、標識)を整備
- ◎④ 臨時市道整備事業費 359,514千円(368,000千円)
市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施
・平成27年度整備実施 26路線
- ◎⑤ 橋りょう長寿命化事業費 53,421千円(120,000千円)
(予算現額のうち66,579千円は平成28年度へ繰越)
道路網の安全性・信頼性を確保するため、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき橋りょうの修繕等を計画的に実施
・塗装塗替等 望洋橋ほか1橋
・調査設計 銭函高架橋ほか1橋
- ◎⑥ 道路ストック更新事業費 70,085千円(72,000千円)
老朽化が進む道路ストック(道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等)を「小樽道路ストック修繕更新計画」に基づき修繕・更新
・朝里中央線(道路附属物)ほか
- ◎⑦ 銭函地区河川防災事業費 21,943千円(27,500千円)
大雨等による銭函地区の浸水被害防止のため、緩勾配河川に溜まった土砂を取り除くほか、護岸や側溝を改修し河川の機能回復を図る防災事業を計画的に実施
・土砂しゅんせつなど 旧星置川ほか4河川
- ◎⑧ ロードヒーティング更新事業費 44,884千円(135,100千円)
老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新
・船見線ほか1路線
- ◎⑨ 建設機械整備費 33,804千円(40,700千円)
安定的な除雪体制の確保を目的に、除排雪機械を計画的に更新
・ロータリ除雪車1台更新
- ◎⑩ 除雪路線現況調査委託料 4,212千円(4,212千円)
除雪路線の道路特性や沿道条件の情報を一元的に整理し、雪押し場の確保や工夫を凝らした除排雪方法の検討などに活用するための調査を実施
- ☆⑪ 移住促進事業経費* 888千円(2,500千円)
(予算現額のうち1,500千円は平成28年度へ繰越)
移住促進に向けた情報発信としてパンフレットの作成や移住フェアに参加するほか、受け入れ環境の充実に向けた「ちょっと暮らし」施設の掘り起こしや、起業希望者を対象として市内視察ツアーを実施
- ◎⑫ 空家実態調査事業費* 7,344千円(8,000千円)
利用可能な空家の活用や危険な空家への対応など平成26年11月に公布された「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく対応に向けた検討を進めるため、市内一円の空家調査を実施し実態を把握
- ◎⑬ 旧国鉄手宮線整備事業費 56,343千円(94,500千円)
平成21年度に策定された「旧国鉄手宮線活用計画」に基づき、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として整備(平成25～28年度)
・平成25年度 中央通～島山小路線 L=640m
・平成26年度 島山小路線～長橋線 L=163m
・平成27年度 長橋線～手宮仲通線 L=146m
- ◎⑭ 既存街路防犯灯LED化推進事業費 122,090千円(149,700千円)
既存街路防犯灯の老朽化や電気料金の値上がりに伴う町会等設置者の負担を

- 軽減するため、既存の水銀灯、白熱灯、蛍光灯をLED灯に改良する場合などに助成金を交付
- 〔実施期間〕平成27～29年度
- 〔助成対象〕①LED灯に改良 ②既存灯具又は既存灯具及び支柱の撤去
(同一の街路防犯灯について、①又は②のどちらかを申請)
- 〔助成率〕 90% (電力会社申請入力電力などの内容により上限額あり)
- ⑮ 市営住宅改善事業費 163,244千円(293,771千円)
(予算現額のうち89,200千円は平成28年度へ繰越)
- 「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修
- ・長寿命化型改善 緑B-1、B-2、最上A-1、A48改良：屋根・外壁等改修
 - ・居住性向上型改善 緑B-1、B-2：給湯設備設置
- ⑯ 市有建築物耐震診断経費 9,997千円(15,800千円)
(うち駅前第一ビル分2,912千円(3,500千円)は平成26年度から繰越)
- 建築物の耐震化をより一層進めるための「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市有建築物の耐震診断を実施
- ・平成27年度実施施設：総合福祉センター、保健所、小樽駅前第一ビル、桂岡小学校(校舎)
- ⑰ 民間大規模建築物耐震診断促進経費 21,230千円(28,400千円)
(うち16,063千円(22,000千円)は平成26年度から繰越)
- 建築物の耐震化をより一層進めるための「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、市へ耐震診断の報告が義務付けられている不特定多数の人が利用する民間大規模建築物の所有者に対して、耐震診断費用の2/3を助成
- ・平成27年度助成件数：5件
- ⑱ (仮称)北海道新幹線新駅周辺まちづくり計画策定事業費 10,239千円(18,090千円)
- 天神2丁目に設置される新幹線新駅の周辺整備などの指針となるまちづくり計画を策定(平成26～28年度)
- ・平成27年度 交通量推計、まちづくり計画策定会議開催ほか
- ⑲ 防災関係経費 8,941千円(11,388千円)
- ・避難所機能強化事業費 6,440千円(7,500千円)
災害発生時における避難所(69か所)受入体制強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を配備
 - ・平成24年度から、防寒対策用品等は6か年、避難所標識(新規及び更新)は5か年で整備
 - ・防災訓練支援事業費 165千円(188千円)
地域住民の防災意識と地域防災力の向上を図るため、津波浸水シミュレーション画像を活用した研修を実施するほか、教材提供などの支援を行い各町会等での避難訓練の実施を促進
 - ・避難支援事業費 2,336千円(3,700千円)
「津波注意喚起標識」等の設置
住民、観光客等の迅速で的確な避難を図るため、3年計画で津波浸水想定区域を有する沿岸部に設置
 - ・平成27年度 「避難誘導看板」を港湾地区19か所に設置、「海拔表示板」を港湾地区の一部～銭函地区75か所に設置
- 「避難行動要支援者名簿」の作成
- 災害時等の避難に支援が必要な高齢者や障がい者などを把握し、実際の災害時に円滑かつ迅速な避難支援等を行うための名簿を作成
- ⑳ 福祉避難所機能確保促進事業費 940千円(940千円)
- 身体等の状況により、一般的な避難所では支障を来す高齢者や障がい者などを福祉避難所へ移送するまでの間や収容できない場合に、一次的避難所(小中学

校)で介護や医療相談等を受けることができる空間を確保するための資機材等を整備

- ・平成27年度 災害用間仕切り150セット(小中学校)

㉑ 原子力防災関係事業費 2,054千円(2,250千円)

原子力防災活動に必要な資機材等を整備

- ・連絡通信機器の整備(防災行政デジタル(MC A)無線)
- ・地図情報システムの整備(G I Sアプリケーション)
- ・安全確保のための活動用装備品整備

㉒ 消防救急無線デジタル化事業費 159,251千円(159,252千円)

平成28年5月末の消防救急無線のデジタル化移行に対応するため、デジタル無線施設を整備

- ・平成24年度 基本設計
- ・平成25年度 実施設計
- ・平成26～27年度 システム整備(無線基地局局舎・鉄塔建設、基地局無線装置の整備ほか)
- ・平成27年度 デジタル無線運用開始

㉓ 機動力増強・近代化事業費 115,137千円(125,000千円)

全ての救助や火災に出動する救助工作車を更新整備

㉔ (仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費 8,964千円(19,300千円)

「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設

- ・平成26年度 旧学校給食オタモイ共同調理場跡地(国有地)の購入、既存建物の解体工事、基本設計
- ・平成27年度 実施設計及び地質調査
- ・平成28年度 新庁舎建設工事、供用開始

4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち(産業振興)

☆① 水産物ブランド化推進事業費 4,708千円(5,000千円)

- ・「小樽水産加工グランプリ」の受賞商品をはじめとする水産加工品の販路拡大を図るため、宅配カタログ販売による「小樽特集」の実施や首都圏での催事の開催への支援、マーケティングセミナーを開催
- ・小樽の地魚の魅力を発信するため、ホームページを作成するとともに、市内の市場、飲食店などとの連携によるPR活動を実施

② 活力ある商店街づくり推進事業費 8,976千円(11,276千円)

- ・にぎわう商店街づくり支援事業費 4,800千円(4,800千円)

小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画、実施する活性化事業に助成

[助成額] 事業費の1/2(限度額600千円) [平成27年度助成対象8団体]

- ・商店街活性化支援事業費 1,842千円(2,000千円)

活力ある商店街等の形成を図るための事業を実施する団体へ助成

[助成額] 事業費の1/2、事業費1,000千円未満(限度額100千円)、事業費1,000千円以上(限度額200千円) [平成27年度助成対象14団体]

- ・空き店舗対策支援事業費 1,062千円(1,476千円)

既存事業者の経営安定化と商店街等の空き店舗解消を目的に店舗家賃の一部を助成

[対象となる商店街等] 小樽市商店街振興組合連合会に加盟する14商店街及び小樽市場連合会に加盟する9市場

[助成額] 家賃の1/2、(限度額50千円)×6か月 [平成27年度助成対象者6人]

- ◎・商業起業者定住促進事業費* 1,272千円(3,000千円)

起業しやすい環境づくりによる商店街等の空き店舗解消と本市への移住・定住促進を目的に、新規商業起業者の研修費用及び店舗家賃の一部を助成

[対象となる商店街等] 小樽市商店街振興組合連合会に加盟する14商店街及び小樽市場連合会に加盟する9市場

[助成額] ①研修費用の2/3(限度額30千円) ②家賃の2/3(限度額50千円)×
12か月 [平成27年度助成対象者4人]

- ◎③ 創業支援事業費 3,929千円(21,500千円)
市内で新規創業する方に対し、創業にかかる経費の一部を補助
・事務所等家賃補助 ・内外装工事費補助 ・利子補給
- ④ 地場産品導入促進事業費* 1,828千円(2,200千円)
地域資源であるガラスの周知と活用促進を図るため、小学生の卒業記念としてガラス製品の制作体験を行う費用を助成
- ⑤ 技術開発促進事業費* 500千円(500千円)
市内の中小企業等が開発した技術・製品のうち特に優れたものを表彰し、開発費用の一部を助成するとともに受賞技術・製品を展示会に出展
- ⑥ ものづくり市場開拓支援事業費* 570千円(660千円)
道内最大規模の展示会に小樽商科大学や北海道職業能力開発大学校等とともに産学官連携のブースを出展し、市内ものづくり企業の製品等をPRすることにより商談機会を創出
- ⑦ 小樽がらす市実行委員会補助金* 700千円(700千円)
全国的に「硝子の街小樽」の知名度を向上させるとともに、地元への浸透度を高め地産地消を推進することを目的に、硝子製品の展示・販売や制作体験などを行う「小樽がらす市」「冬の小樽がらす市」のほか、地域ブランドの向上を目指す「小樽硝子アート展」を開催
- ◎⑧ 小樽産品商品力・販売力向上事業費* 8,314千円(8,500千円)
食品関連企業の商品開発力と販売力向上のため、企業向けのワークショップや販売実践会を行うとともに、高付加価値商品の開発やレシピ作成、商品特性

に応じた販路の開拓などを実施

- ⑨ 「小樽産品」販路拡大支援事業費* 1,925千円(2,500千円)
市内食料品製造企業の道外への販路拡大を支援するため、首都圏で開催される展示・商談会へ出展
- ☆⑩ 海外販路拡大支援事業費* 1,559千円(2,000千円)
海外への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加費用を補助するほか、札幌市等との連携事業による海外商談会・展示会へ参加
- ⑪ 企業立地トップセミナーフォローアップ事業費* 744千円(750千円)
平成24年度(東京)、平成25年度(大阪)に開催した「企業立地トップセミナー」の参加企業などに対するフォローアップのため市長などによる企業訪問を実施
- ⑫ 企業誘致促進事業費* 931千円(1,000千円)
小樽市の特性や立地環境を広くPRするためのパンフレット作成のほか、道外で開催される企業立地セミナーへ出展
- ◎⑬ 設備投資動向調査事業費* 3,564千円(3,570千円)
本市への新たな企業立地促進に向けた効果的な企業誘致活動のため、食品関連企業や物流関連企業を中心に設備投資動向などを調査
- ⑭ 札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金* 750千円(750千円)
石狩湾新港地域への企業立地促進のため、石狩市や石狩湾新港管理組合等と連携し、首都圏で開催される食品や物流関連企業を対象とした産業展へ出展
- ◎⑮ まちなか観光にぎわいづくり調査事業費 3,673千円(19,500千円)
中心市街地における国内外観光客の市場調査及び動態調査を実施

- ⑩ 小樽 k a w a i i ティーパーティー実行委員会補助金＊ 199千円(500千円)
本市観光の新たな魅力づくりを図るため、女性層をターゲットに、国内のみならず海外にも広がる「kawaii(カワイイ)」をキーワードとしたイベントを開催
- ⑪ 観光案内所運営費交付金＊ 8,800千円(8,800千円)
J R小樽駅及び浅草橋街園の観光案内所を運営
- ◎⑫ 外国語通訳配置支援事業費補助金＊ 2,800千円(2,800千円)
本市観光のメインストリートである堺町通りには海外から多くの観光客が訪れていることから、地元商店街が運営する観光案内所に通訳を配置
- ⑬ 小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金＊10,800千円(10,800千円)
外国語通訳(英語、中国語、韓国語)を運河プラザに配置し、増加する海外観光客にも対応する総合窓口を運営
- ⑭ 宣伝物製作等経費＊ 2,261千円(3,300千円)
海外からの観光客に対応するための「おたる案内人がおススメする小樽散策コース」英語版、観光DVDなどPRツールを製作
- ⑮ 宿泊客誘致事業費補助金＊ 1,880千円(2,000千円)
企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介や市内宿泊施設の広告を掲載し、観光閑散期(11～2月)の宿泊客増加を図るための誘客キャンペーンを実施
- ⑯ 国内外観光客誘致実行委員会補助金＊ 3,000千円(3,000千円)
インドネシアなどから旅行代理店担当者を招請する事業への参加のほか、東京での観光説明会の開催や札幌での誘客キャンペーンなど観光プロモーションを実施
- ⑰ 観光広告プロモーション事業費補助金＊ 2,000千円(2,000千円)
道内外からの観光客の誘致促進を目的に、新聞や雑誌などへ広告を掲載
- ⑱ 移動式W i - F i 環境整備事業費＊ 592千円(750千円)
クルーズ客船の入港時やおたる潮まつり等のイベントにおいて、観光客等が無料で利用できる移動可能な公衆無線LANを整備
- ◎⑲ 観光ポスター等制作事業費＊ 2,741千円(3,000千円)
時代の変化とともに旅行形態や趣向が変化していることから、新たな魅力を発信するため観光ポスター及びポストカード、クリアファイルを制作
- ⑳ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金＊ 3,000千円(3,000千円)
札幌市や北海道運輸局と連携し、アジア圏をはじめとした外国人観光客とM I C E 誘致に向けて誘致事業への参加や旅行博への出展、メディア招請などを実施
- ◎㉑ 小樽ショートフィルムセッション開催補助金＊ 1,300千円(1,300千円)
小樽の優れたロケーションを発信しロケ誘致と観光客誘致につなげるため、小樽の街を舞台としたショートフィルムのコンテストを開催
- ◎㉒ 小樽あんかけ焼そば親衛隊観光PR補助金＊ 2,000千円(2,000千円)
B - 1 グランプリ等の道内外で開催されるイベントに参加し、本市のご当地グルメである「小樽あんかけ焼そば」とともに、小樽観光のPR活動を実施
- ㉓ (漁港管理)道直轄工事費負担金 7,200千円(7,200千円)
・祝津漁港整備事業費
西護岸、-3.0m岸壁、船揚場の補修工事(平成25～27年度)
・平成25年度 計画策定(測量調査、設計等)
・平成26年度 西護岸(市負担0)
・平成27年度 西護岸(市負担0)、-3.0m岸壁・船揚場(うち市負担8/60＝7,200千円)

- ⑩ (港湾施設)国直轄工事費負担金 157,136千円(305,000千円)
- ・北防波堤改良事業費 2,274千円(15,000千円)
老朽化した防波堤の改良による施設の延命化
 - ・平成25年度まで 根固工(L=550.9m/港外)、被覆工(L=32m/港外、L=586m/港内)
 - ・平成26年度 根固工(L=16.1m/港外)、被覆工(L=89.1m/港内)
 - ・平成27年度 調査・解析
 - ※国直轄事業 平成27年度全体事業費 10,000千円
(うち市負担1.5/10=1,500千円、前年度精算追徴金774千円)
 - ・第3号ふ頭岸壁改良事業費 154,862千円(290,000千円)
第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良
 - ・平成26年度 調査・設計
 - ・平成27年度 撤去工(L=114m)
 - ※国直轄事業 平成27年度全体事業費 465,000千円
(うち市負担1/3=155,000千円、前年度精算還付金138千円)
- ⑪ 港湾改修事業費 63,277千円(79,300千円)
- ・臨港道路改良事業費 11,887千円(15,800千円)
円滑な交通確保と安全性の向上を図るため、臨港道路の舗装の補修を実施(平成27～31年度)
 - ・平成27年度 小樽港縦貫線 舗装改良(L=203.6m)
- ◎・第2号ふ頭岸壁改良事業費 18,642千円(25,390千円)
外航船の係留施設を確保するため、老朽化したエプロン舗装や附帯施設を改良(平成27～29年度)
 - ・平成27年度 エプロン舗装(A=843㎡)、防舷材9基ほか
- ◎・合同庁舎周辺整備事業費 32,748千円(38,110千円)
円滑な車両交通や安全な歩行者動線を確保するため、新合同庁舎周辺の臨港道路を整備

- ・第3埠頭中央線 道路改良(L=81m)
- ⑫ 環日本海クルーズ推進事業費 1,543千円(1,820千円)
環日本海クルーズ推進協議会を構成する小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港、秋田県3港(秋田港、船川港、能代港)の5地域が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施
- ⑬ 小樽港クルーズ推進事業費 6,340千円(8,214千円)
市や国などの行政機関と民間で構成される小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港に対応するための受入体制を強化
- ◎⑭ 小樽港物流促進プロジェクト事業費* 1,000千円(1,000千円)
小樽港の物流促進のため、ロシア沿海地方の企業訪問や市場調査を実施するほか、関東・関西エリアにおいてポートセールスを実施
- ⑮ 港湾計画改訂事業費 26,042千円(38,480千円)
小樽港を取り巻く諸情勢の変化に対応した港の開発、利用及び保全の方針を定めるため、港湾計画を改訂(平成24年度から実施)
- ⑯ 高校生就職スキルアップ支援事業費* 1,850千円(1,850千円)
主に高校1・2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため就職活動の実践力向上事業を実施
- ⑰ 女性・若年者の地元定着を目指した人材育成事業費*26,013千円(26,700千円)
女性・若年者の正規雇用による地元定着を目的に、就業体験と講義を組み合わせた実践的な人材育成を実施
- ⑱ 姉妹都市提携委員会交付金 2,695千円(4,151千円)
姉妹都市であるロシア・ナホトカ市、ニュージーランド・ダニーデン市及び

韓国・ソウル特別市江西区との交流事業を実施

- ・姉妹都市提携35周年記念使節団ダニーデン市訪問事業
- ・姉妹都市提携5周年記念使節団江西区訪問事業など

5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

- ① 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,269,049千円(1,269,049千円)
北しりべし廃棄物処理広域連合（小樽市、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村）によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ◎② 廃棄物最終処分場埋立計画等作成業務委託料 2,127千円(3,400千円)
一般会計1,957千円(3,128千円)、特別会計170千円(272千円)
現処分場のかさ上げによる延命のため埋立て計画を策定
- ◎③ し尿・浄化槽汚泥処理負担金 41,255千円(41,255千円)
し尿処理施設の老朽化に伴い、平成27年度からし尿及び浄化槽汚泥を中央下水終末処理場において処理
- ④ 都市公園安全・安心事業費 29,456千円(58,800千円)
老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を計画的に進め、公園利用者の安全・安心を確保
・平成27年度 遊具の更新(入船公園ほか3公園)
- ⑤ 小樽公園再整備事業費 30,294千円(58,675千円)
明治26年開園の小樽公園を再整備
・平成25年度 工事測量及び実施設計
・平成26年度 日本庭園の整備、公園維持管理事務所の更新
・平成27年度 炎の塔広場等の整備、公園維持管理事務所の更新

- ◎⑥ 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金*

7,450千円(15,000千円)

景観条例に基づき登録している歴史的建造物のうち、民間が所有する建造物の外観に係る補修費の一部を助成し、歴史的建造物の保全を推進

〔助成額〕歴史的建造物の外観保全に必要な経費の1/3以内（限度額 指定歴史的建造物600万円、登録歴史的建造物300万円）

- ・平成27年度助成件数：3件

B【その他の施策】

- ① 社会保障・税番号制度システム整備事業費 101,168千円(106,395千円)
社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に対応するためのシステムを整備
・平成27年10月 個人番号の付番及び通知
・平成28年1月 個人番号の利用開始、個人番号カードの交付開始
- ☆② 平和事業関係経費 1,002千円(1,002千円)
戦後70周年を迎えることから、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝えていくため次世代を担う青少年を対象に戦争体験に関する研修事業を実施するほか、「原爆パネル展」や「平和映画上映会」を開催
- ③ 定住自立圏構想推進経費* 832千円(1,400千円)
「第2次北しりべし定住自立圏共生ビジョン」に基づき、圏域6市町村が合同で特産品や観光スポットなどの情報発信事業を実施
- ◎④ 総合戦略策定関係経費* 9,880千円(10,000千円)
人口減少克服と地方創生を目指す「まち・ひと・しごと創生法」に基づく「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」を策定

- ◎⑤ 生活困窮者自立支援事業費 18,299千円(22,135千円) せ分5%を含む)
- ・住居確保給付金支給事業費 222千円(2,553千円) [発行枚数] 10万セット
離職等により住宅を失った場合などに、住居確保のための給付金を支給 [使用期間] 平成27年7～12月
 - ・自立相談支援事業費 12,896千円(13,582千円)
就労その他の自立に関する相談支援や自立支援計画の作成
 - ・就労準備支援事業費 5,181千円(6,000千円)
生活習慣形成のための指導・訓練のほか、就労の前段階として必要な社会的
能力や就職活動に向けた技法・知識の習得などを支援

- ⑥ 臨時福祉給付金給付事業費 205,226千円(908,000千円)
(予算現額のうち686,600千円は平成28年度へ繰越)
- 消費税率引上げによる負担を緩和するための低所得者に対する簡素な給付
措置
- [対象者] 平成27年度市民税(均等割)が課税されていない方
(市民税(均等割)が課税されている方の扶養親族等及び生活保護被
保護者等を除く)
- [支給額] 対象者1人につき6千円

- ⑦ 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費 38,467千円(53,000千円)
- 消費税率引上げの影響等を踏まえた子育て世帯に対する臨時特例的な給付
措置
- [対象者] 平成27年6月分の児童手当(特例給付を除く)を受給している方及び
要件を満たす方
- [支給額] 対象児童1人につき3千円

- ◎⑧ プレミアム商品券事業費* 255,856千円(260,000千円)
- 市内の消費喚起を図るため、プレミアム付き商品券の発行、販売等の業務を
小樽商工会議所に委託
- [販売価格] 1セット1万円(1万2千円相当)、プレミアム率20%(北海道の上乗

- ◎⑨ 子育て世帯生活支援事業費* 65,794千円(71,000千円)
子育て世帯への生活支援として、基準日(平成27年4月1日)現在18歳未満の方
1人当たり4千円分の商品券を該当する世帯に対し支給

- ⑩ 知事及び道議会議員選挙費 29,716千円(34,000千円)
・平成27年4月12日執行

- ⑪ 市長及び市議会議員選挙費 56,905千円(71,074千円)
・平成27年4月26日執行

C【国の経済対策関連事業】

《国の補正予算関連》

- 「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」(平成26年12月27日閣議決定)に
位置づけられた具体的施策実行のため、国の補正予算で措置された「地域活性
化・地域住民生活等緊急支援交付金」について、以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

- 地域消費喚起・生活支援型 271,727千円[321,650千円]
- ・プレミアム商品券事業費*〈再掲〉 205,933千円[255,856千円]
 - ・子育て世帯生活支援事業費*〈再掲〉 65,794千円[65,794千円]
- 地方創生先行型 168,875千円[181,243千円]
- ・定住自立圏構想推進経費*〈再掲〉 832千円[832千円]
 - ・移住促進事業経費*〈再掲〉 888千円[888千円]
 - ・空家実態調査事業費*〈再掲〉 7,344千円[7,344千円]
 - ・総合戦略策定関係経費*〈再掲〉 9,880千円[9,880千円]

・保育環境改善事業費<再掲>	9,800千円[9,800千円]
・高校生就職スキルアップ支援事業費* <再掲>	1,850千円[1,850千円]
・女性・若年者の地元定着を目指した人材育成事業費* <再掲>	26,013千円[26,013千円]
・水産物ブランド化推進事業費<再掲>	4,708千円[4,708千円]
・商業起業家定住促進事業費* <再掲>	1,080千円[1,272千円]
・地場産品導入促進事業費* <再掲>	1,828千円[1,828千円]
・技術開発促進事業費* <再掲>	500千円[500千円]
・ものづくり市場開拓支援事業費* <再掲>	570千円[570千円]
・企業立地トップセミナーフォローアップ事業費* <再掲>	744千円[744千円]
・企業誘致促進事業費* <再掲>	931千円[931千円]
・設備投資動向調査事業費* <再掲>	3,564千円[3,564千円]
・札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金* <再掲>	750千円[750千円]
・海外販路拡大支援事業費* <再掲>	1,559千円[1,559千円]
・小樽産品商品力・販売力向上事業費* <再掲>	8,314千円[8,314千円]
・小樽がらす市実行委員会補助金* <再掲>	700千円[700千円]
・創業支援事業費<再掲>	1,292千円[3,929千円]
・宣伝物製作等経費* <再掲>	2,261千円[2,261千円]
・宿泊客誘致事業費補助金* <再掲>	1,880千円[1,880千円]
・国内外観光客誘致実行委員会補助金* <再掲>	3,000千円[3,000千円]
・観光広告プロモーション事業費補助金* <再掲>	2,000千円[2,000千円]
・観光案内所運営費交付金* <再掲>	4,900千円[8,800千円]
・移動式Wi-Fi環境整備事業費* <再掲>	592千円[592千円]
・外国語通訳配置支援事業費補助金* <再掲>	2,100千円[2,800千円]
・小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金* <再掲>	6,073千円[10,800千円]
・観光ポスター等制作事業費* <再掲>	2,741千円[2,741千円]

・東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金* <再掲>	3,000千円[3,000千円]
・小樽kawaiティーパーティー実行委員会補助金* <再掲>	199千円[199千円]
・小樽ショートフィルムセッション開催補助金* <再掲>	1,300千円[1,300千円]
・小樽あんかけ焼そば親衛隊観光PR補助金* <再掲>	2,000千円[2,000千円]
・除雪路線現況調査委託料<再掲>	4,000千円[4,212千円]
・歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金* <再掲>	7,450千円[7,450千円]
・小樽港物流促進プロジェクト事業費* <再掲>	1,000千円[1,000千円]
・ICT教育促進事業費<再掲>	41,232千円[41,232千円]

□ 「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策」(平成27年11月26日一億総活躍国民会議決定)を踏まえ、緊急対応として、「地域版総合戦略」に位置づけられた先駆的な取組の円滑な実施を支援するため、国の補正予算で措置された「地域創生加速化交付金」について、以下の事業に活用

(全額を平成28年度へ繰越)

・移住促進事業経費<再掲>	一千円(1,500千円)
・「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費<再掲>	一千円(150千円)
・小学校英語教育推進事業費	一千円(306千円)